

主な出来事

【内政】

- 総選挙に向けたUN及びH&Mによる連立
- 2016年ガボン大統領選挙：ICC検察局による訴えの却下
- 選挙キャンペーンの開始

【外政】

- ボンゴ大統領による第7回中国・アフリカ協力フォーラム首脳会合への出席
- エジプト大統領特使によるガボン訪問
- AfDB 副総裁によるガボン訪問
- ファキAUC委員長とボンゴ大統領による会談
- インドによる気候変動対策支援

【経済】

- 中国TBEA社によるミチク水力発電計画再開に向けた投資
- 2018年対外債務：GDP比40.7%
- ボンゴ大統領による中国CGGC社代表との会談
- 中国CMT社による造船所建設

【内政】

1 上院第2会期の開催

3日、上院議長は同院の第2会期の開催を宣言し、国民議会選挙及び地方選挙の実施に関して、信頼性、透明性のある選挙の実施を呼びかけたほか、2019年予算審議、政府が実施する財政改革の実現に向け団結を呼びかけた。（4日付UN）

2 総選挙に向けたUN及びH&Mによる連立

次期総選挙・地方選挙に向けて、最大野党UN（国民連合）のミボト代表及びH&M（相続と近代性）のシャンブリエ代表は連立を組むことで合意した。（4日付GMT）

3 ECCAS, UNREC, UNOCAによる会合の開催

国連アフリカ平和軍縮地域センター（UNREC）、中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）及び国連中部アフリカ地域事務所（UNOCA）は、リーブルビルにおいて三者会合を開催し、2020年までのアフリカ内の武装勢力解体に向けた協力のあり方について協議した。（12日付GR）

4 教育タスクフォース報告書のボンゴ大統領への提出

14日、教育、研修、雇用タスクフォースは、8月から9月にかけて開催された同タスクフォースセミナーの結果報告書をボンゴ大統領に提出した。同セミナーでは、労働市場の要求に応えるための教育システムの改善、職業訓練の活用に向けた100の勧告が採択さ

れた。(15日付UN)

5 2016年ガボン大統領選挙：ICC検察局による訴えの却下

21日、2016年8月の大統領選挙に関連して、同年5月以降人道に悖る行為があったとしてガボン政府が国際刑事裁判所（ICC）に提訴していた件で、ICC検察局は、予備調査の結果、ICCが捜査を開始するための法的要件が満たされていないと判断した。

(22日付UN)

6 選挙キャンペーンの開始

25日、国民議会選挙、地方選挙のキャンペーンが開始された。(25日付UN)

【外政】

1 ボンゴ大統領による第7回中国・アフリカ協力フォーラム首脳会合への出席

ボンゴ大統領は9月3日から4日にかけて開催された第7回中国・アフリカ協力フォーラム首脳会合に出席するため北京を訪問し、習近平国家主席と会談し、両首脳は、軍事及びその他大規模プロジェクトのための総額2億元の無償協力協定に署名し、二国間の貿易強化で一致した。さらに、①所得税の二重課税及び脱税の防止対策に係る協定、②様々なプロジェクトの実施枠組みにおいて、中国からの財政支援を可能とする経済・技術協力協定、③一帯一路に係るMOUの3件に署名した。(3日付UN)

2 エジプト大統領特使によるガボン訪問

10日、ボンゴ大統領は、エジプト大統領国家プロジェクト顧問のモハメド・イスマイル氏と会談し、農業、職業訓練、木材加工、鉱業分野での投資といった二国間の連携強化について協議した。(11日付UN, 11日付GR)

3 AfDB 副総裁によるガボン訪問

14日、ボンゴ大統領は、シェリフ AfDB 副総裁と会談し、財政面での政府による企業改革を中心に協議した。(14日付GM)

4 ファキAUC委員長とボンゴ大統領による会談

17日、ボンゴ大統領はファキAUC委員長と会談し、AU及びECCASの連携のほか、コンゴ（民）、中アといった中部アフリカ地域の平和・安全保障について協議した。また、AUC委員長は11月に機構改革に係る臨時首脳会合を開催する旨発表した。(18日付UN)

5 インドによる気候変動対策支援

24日、第73回国連総会のマージンにおいて、アフリカ・アダプテーション・イニシアティブ(AAI)円卓会議が開催され、インドは気候変動対策に係る5億5,800万CFAフランの支援を表明した。(26日付GMT)

【経済】

1 Panoro Energy 社による新石油鉱床の発見

8月31日、ノルウェーの Panoro Energy 社は、ガボン沖にて新たな石油鉱床を発見した旨を発表し

た。同鉱床は、Ruche Northe East Marin1 に位置し、現在、技術評価が実施されている。(2日付UN)

2 中国TBEA社によるミチク水力発電計画再開に向けた投資

2月のガボン戦略投資基金(FGIS)とのMOU署名に続き、中国TBEA社は、ミチク地区付近のオカノ川での水力発電FE2の建設計画の再開・完工に向けて1億8,000万ユーロの投資を約束した。FE2の水力発電所は、ウォレウ・ンテム州のミチク南東のオカノ川に位置し、2010年から36メガワットの水力発電所の建設計画が開始されたが、2013年、再生可能エネルギー開発会社(Coder)の決定に基づき中断していた。(4日付UN)

3 2018年対外債務:GDP比40.7%

中部アフリカ諸国銀行(BEAC)の報告書によれば、2018年のガボンの対外債務は前年の40.5%から、40.7%に増大した。(6日付GR)

4 ボンゴ大統領による中国CGGC社代表との会談

6日、FOCACに出席するため訪中していたボンゴ大統領は、エネルギー会社のCGGC社代表と武漢で会談した。同社は、ガボン南部のウジェニー皇后ダム建設工事を、36ヶ月での完工を目指して請け負う旨約束した。80メガワットの出力が予定される水力発電所の完成は、ガボン南部の電力不足解消に大いに貢献することとなる。(7日付UN)

5 IFCによる「コミログ2020」への融資

仏エラメット社の子会社であるコミログ社は、新鉱床での採掘、生産増を目的とした「コミログ2020」プロジェクトに関し、国際金融公社(IFC)に対して融資を求めた。(17日付GR)

6 鉱山大臣及び Managem 社代表による会談

19日、マニャニャ鉱山大臣は Managem Gabon 社代表と会談し、Bakoudou 鉱床での採掘、Eteke プロジェクトを中心に協議した。Eteke 金鉱脈では5年間で1から1.5トンの年間生産が見込まれている。(20日付GMT)

7 BEACによる中部アフリカ地域の商業銀行支援

BEACは、中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)地域の商業銀行の流動性不足を解消するため、2,650億CFAフランの資本注入を決定した。(27日付UN)

8 中国CMT社による造船所建設

国際・国内航行国営企業(CNNII)及び中国CMT社は、官民連携の枠組みで、ポールジャンティに国内で初めてとなる造船所の建設で合意した。(30日付GMT)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコ・ノール紙)